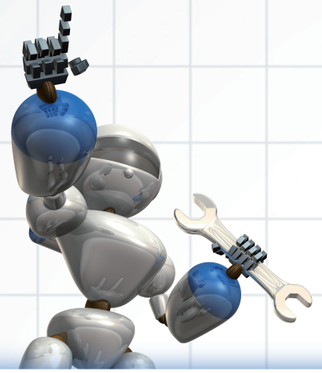
会社案内

株式会社 芝橋
SHIBAHASHI Corporation



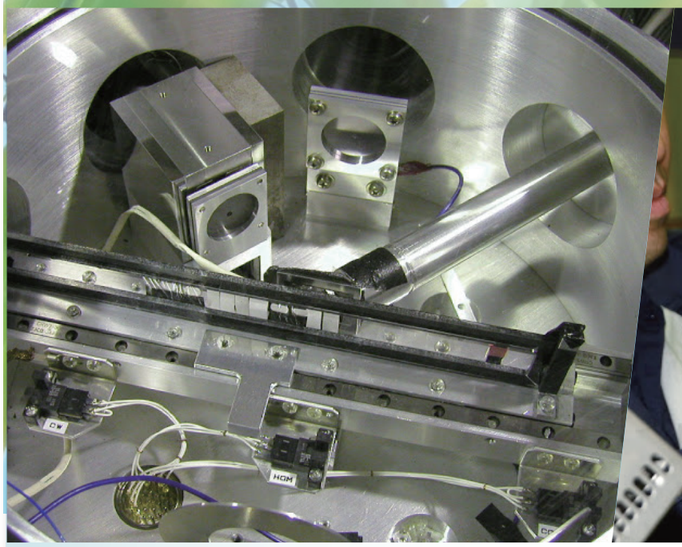


株式会社 芝橋

〒144-0034 東京都大田区西糀谷2-7-15
tel: 03-3744-6551 fax: 03-3744-6553
https://www.sibahasi.co.jp

Sツクルをつくる

私たちは人が活きる、未来をつなぐ、
思いやりがある"ものづくり”を目指し続けます。







液体計量・吐出装置、研磨装置、ハロゲンランプ照射装置、各種省力機械装置の設計製作。

OEM生産にも対応、 貴社のオリジナル装置を一緒に開発します。

設計・組立・メンテナンスまで全て **社内一貫対応。**

徹底した現場主義で、お客様に安心と満足を提供します。

お客様はもちろん関わる全ての人・環境への思いやりを大切に、

お客様の発展に貢献する **未来創造ファクトリー** です。

社長あいさつ

代表取締役社長
渡辺　大



皆様に頼りにされる企業を目指して

私たち芝橋は明治 38 年に港区で「芝橋鉄工所」として創業し、主に印刷関係機器の部品加工、修理業務を経て今日では各種省力機械の設計から製造・サービスまで「ものづくり」を一貫して行うメーカーとして日々活動させて頂いております。

大手メーカーの「ものづくり」とは異なる、お客様の声・現場のニーズに柔軟にお応えする中小企業ならではの細やかなサービスを前面に打ち出し、お客様にご満足頂ける装置を御提供して参ります。

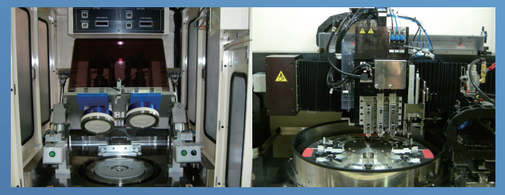
大田区の町工場ならではの「小ロット製造」「特注対応」を得意とし、印刷関連機器として日本トップシェアの装置や世界最大手ハードディスクドライブメーカーの主要装置として活躍中の装置など幅広い業界で活躍中の装置を手がけております。

これからもお客様のご希望に応えるべく、「正直・親切・勤勉・思いやりと感謝」を大切にお客様・お取引企業様・協力会社様・芝橋従業員とご家族、全員が「Total-Win」の関係が構築でき、「芝橋の製品を導入してよかった」と思って頂けるように日々精進して参ります。
今後とも皆様のご指導・ご支援を心よりお願い申し上げます。

業務内容



印刷インキ等各種液体の自動計量装置
印刷用紙反転装置等設計製作



半導体等ダイヤモンドラップ
研磨装置設計・製作



その他OEM装置受託生産

会社概要と沿革

商号	株式会社　芝橋（Shibahashi Corporation）
創業	1905 年（明治 38 年）
資本金	55,000,000 円
代表取締役	渡辺　大（Hajime Watanabe）
本社所在地	〒144-0034　東京都大田区西糀谷 2-7-15
TEL	03-3744-6551（代）
FAX	03-3744-6553
メールアドレス	info@sibahasi.co.jp

明治 38 年	日露戦争後、東京市本芝において外国製船舶エンジンの修理を専門として杉本春吉により、芝橋鉄工所が設立。
大正 2 年	渡辺錦太郎により、ダウソン印刷機を日本向けにアレンジした四十六判、菊判用活版印刷機を製造開発し、印刷機メーカーとして動き始める。
昭和 26 年	渡辺総一郎により資本金 30 万円にて株式会社芝橋鉄工所とし、活版印刷機の販売製作および輸入印刷機のメンテナンス等を行う。
昭和 47 年	渡辺鉦弘が代表取締役に就任。活版印刷機の製造を中止し、輸入印刷機プラネタ、ハリス等の部品製作を行うとともに印刷機周辺機器および包装機の設計製作販売を開始し、活動の場所を拡大。
昭和 59 年	ラップ盤事業を開始。現在の主力製品の一角となる。
昭和 64 年	年賀はがき自動包装ラインを納入し、包装業界に参入。
平成元年	印刷用紙高積機「パイルロボ」１号機を開発。
平成 2 年	印刷用紙反転機「パワフル転太」１号機を納入し、印刷周辺の省力化を目指す。
平成 4 年	事業拡大に伴い、本社を港区芝から大田区蒲田へ移転。資本金を 1000 万円に増資すると同時に株式会社芝橋に社名変更。
平成 6 年	IGAS に特色インキ自動計量装置「レインボー」を出展。現在も主力商品の一つとなっている。
平成 9 年	ロール紙反転装置１号機を納入。
平成 11 年	壁紙用水性インキ自動計量ラインを納入。残インキ再利用など建材印刷における今後の環境問題に取り組む。
平成 14 年	特色インキ自動計量装置「レインボー RW-5 型」を開発。プリンテック東京・東京グラフィックスフェア合同展へ出展。
平成 15 年	インキ自動供給装置「楽インキョ」を開発。
平成 17 年	特色インキ自動計量装置「レインボー RW-6 型」を開発。
平成 21 年	特色インキ自動計量装置「レインボー RW-7 型」を開発。
平成 22 年	渡辺大が代表取締役社長に就任。
平成 23 年	東日本大震災で津波被害にあった三菱製紙 八戸工場の輪転印刷用ロール紙搬出ラインの弊社製造装置の早期復旧に尽力。タイ水害で水没した半導体工場の弊社製造装置復旧作業。
平成 27 年	OEM 製品として光成形装置を製作。インキメーカー様向け、印刷会社様向けの水性及び UV フレキソインキ　特色インキ自動計量装置を製造。1kg 缶対応のインキ自動計量装置「レインボー RW-8 型」を開発。
平成 28 年	資本金 5,500 万円に増資。
平成 29 年	古くから親しまれていました印刷用紙反転装置「パワフル転太君」が新型にリニューアルされました。



1910 年頃の本社工場